

よかかせ

第7号

2014年(平成26年)
発行日：10月10日
発行：中間市人権男女共同参画課

人権センターだより

第3回 よかかせ祭を開催します

日時：平成26年10月25日(土)・26日(日) 10時から15時
場所：中間市人権センター 中間市岩瀬1丁目17-1

10月25日(土)・26日(日)の2日間、中間市コミュニティ文化祭が開催されます。人権センターもこの文化祭に参加をはじめて3回目となり、“第3回よかかせ祭”を行います。この機会に、人権センターはいつでも気軽に相談に来られる場所ということや、人権センターが行っている取り組みなどを知ってもらいたいと思います。今回の“よかかせ祭”も、子どもから大人まで楽しめる内容ですので、みなさまお誘い合わせの上ご参加ください。

今年の“よかかせ祭”は…

【ヨーヨーすくい】

お祭りで定番の「ヨーヨーすくい」を駐車場で行います。数に限りがあり、なくなり次第終了となりますのでお早めにお越しください。



【25日 午前10時から12時】

【お米すくい】

“よかかせ祭”恒例の「お米すくい」は駐車場で行います。量に限りがありますので、お早めにお越しください。



【25日 午前11時から11時30分】

【バザー】

市内社会福祉施設で働いているみなさんより、バザーを駐車場で行います。



【25日 午前10時から午後3時】

【人権ポスター 人権標語】

人権センター2階の研修室において、市内小中学校の児童・生徒の作品を展示しています。子どもたちが感じている人権意識を知ることができます。



【25日・26日 午前10時から午後3時】

コミュニティ文化祭に参加している施設が共同で行うスタンプラリーにもぜひチャレンジしてください。

平成26年7月25日(金) 第2回 中間市人権フェスティバルを開催しました!!

第2回人権フェスティバルをなかまハーモニーホールで開催しました。今年は、雨の多い夏となりましたが、当日は、天気が良く昨年同様に天候に恵まれる開催となりました。

今回は多くの参加団体の発表も行われ、市民参加型がより強まる人権フェスティバルになりました。本年度も多くの方々にご来場いただきありがとうございました。

人気者の♡モモマルくん



真剣に紙芝居
見えています



ヨーヨー
つりつれた
ヨー!!



なかっぱ〜♡



希望ヶ丘高校
エステ実演☆
自動車点検



中村夏海さん
心に響く
歌声〜♪♪



中間高校
演劇部 &
ダンス発表



さくら保育園「さくら太鼓」
元気いっぱい(*^_^*)

※人権フェスティバル
アンケート感想より

- ・若い人たちの生き生きとした姿がとても良かったです
- ・講演で知らなかったことを知りました
- ・日曜日の開催の方が来やすかったです

平成26年度第二回人権フェスティバル 第II部大ホール講演会 森田ゆり「生きるちからとしての人権」

～子ども、高齢者、障がいのある人のありのままを受け入れる共感力スキル～

あるがままの自分を大切にする「自己尊重」を育て、それぞれが持つ個性や能力を認めるエンパワメントという考えを軸に、人権とはいかなるものか、また互いが尊重し合うために必要な共感スキルについてご講演いただきました。



人権教育はいま!

シリーズⅡ
中間北中学校

シリーズ第2弾は、中間北中学校の人権教育を紹介します。今回は、「視覚障がい」の子どもたちの活動を通して学んだことを報告します。

「障がい」について知り、生き方に学ぶ

～キッズフォトグラファーズ、横浜市立盲特別支援学校の子ども達を通して～



「今から写真を見てもらいます。どのような人が撮ったものと思いますか。」教師の問いかけに子どもたちが感じたことを答えていきます … 「実は、これらの写真は、『視覚障がい』のある子どもたちが撮った写真です。」という教師の言葉に驚く生徒たち …



昨年度、道徳の時間に「視覚障がい」のある子どもたちが撮った写真集を活用して学習をおこないました。この学習で子どもたちに、「『障がい』を持つことは、全てが『できない』ということではなく、『できる』『できない』の限界を決めているのは、『障がい』を持っている本人ではなく、周りの人なのだ」ということでした。また、そのような方々の前向きな生き方から学んでほしいという思いもありました。そこで

写真を撮った子どもたちに出会いたいという思いから、手紙と写真集の感想文を横浜市立盲特別支援学校に送りました。すると、写真を撮影した方から返事の手紙をいただきました。点字の手紙も送付され、生徒たちは興味深く手紙を読んでいた。手紙には、学校生活や写真を撮ることについて書かれていました。実際に「出会う」ことで、盲特別支援学校の子どもたちから前向きな生き方を学べたようでした。

〈子どもたちの感想から〉

- 僕は道徳の授業で写真を見ましたが、とても感動しました。それとともに目が見えない＝イコール、写真が撮れないという自分の見聞がどれだけ狭いかを感じました。素敵な写真をありがとうございました。
- 私が写真を見たとき、かわいい写真、きれいな写真、ロマンチックな写真、こんな写真をだれが撮ったのだろうと思い聞いてみると、盲学校の人たちが撮ったと聞いてびっくりしました。目が見えないのに、なぜ、こんな写真が撮れるのだろうと思いました。何ごともやろうとする姿が伝わってきました。私も何ごとも一生懸命やろうと思いました。



中間北中学校では、保・小・中で連携し、一貫した人権教育を行っています。今後も連携を深め、正しい人権感覚を身につけ、お互いを大切にできるような人権教育を行っていきたいと思っています。

「子育て女性再就職支援」 出張面接相談

子育てと仕事を両立したい女性の方を応援します。

※前週の木曜日までに**予約が必要です**

予約問い合わせ

☎093-571-6440

場所：中間市人権センター



日時

11月10日(月) 10時～15時

12月1日(月) 10時～15時

1月5日(月) 10時～15時

2月2日(月) 10時～15時

なやみごと相談所開設

なやみごとや困りごとを人権擁護委員（市内在住6名）が無料でご相談をお受けいたします。秘密は厳守されますのでお気軽にご相談ください。

※電話での相談はご遠慮ください。

場所：中間市人権センター（予約不要）

| | |
|-----------|-------------|
| 11月12日(水) | 13:30～15:30 |
| 12月10日(水) | 13:30～15:30 |
| 1月14日(水) | 13:30～15:30 |
| 2月18日(水) | 13:30～15:30 |

中間市人権センター 中間市岩瀬1丁目17-1 ☎093-245-3511

あなたの思いを川柳に!

川柳募集

平成26年10月31日(金) ※**必着**

応募者全員に賞品を贈呈

テーマ①：男女共同参画

すべての人が性別にとらわれず自分らしく『きらり』と輝いて暮らせる社会へのメッセージを募集します。五・七・五の川柳にあなたの思いにユーモアを交えて表現してみませんか?

テーマ②：人権啓発

子ども、高齢者、障がいのある人、外国人、同和問題、HIV感染者などの人権問題に関するものや、「人と人とのつながり」や「命の大切さ」等、人権に関する川柳を募集します。



応募要領

応募資格：中間市内に在住、または通勤通学している人。

応募方法：テーマと川柳、住所、氏名、年齢、性別、連絡先を明記の上、郵送・FAX・電子メールのいずれかの方法でご応募ください。(市内に通勤の方は会社名、学生は学校名および学年を明記してください)

応募上の注意：応募作品はオリジナルで未発表のものに限ります。句数に制限はありません。

その他：応募作品の著作権は主催者に帰属します。応募作品は返却しません。主催者が作成する広報、啓発用ポスター・パンフレット等に氏名・学校名等を掲載することがあります。

応募・問合せ→〒809-0011 中間市岩瀬一丁目17番1号 (人権センター内) 中間市市民部人権男女共同参画課

TEL：093-245-3511 FAX：093-245-3519 Email：jinkendanjyo@city.nakama.lg.jp

● 第二次中間市人権教育・啓発に関する基本計画(案)のパブリックコメントを実施します ●

募集期間 10月14日(火)～11月12日(水)(必着) 詳しくは広報なかま又はホームページをご覧ください